

2022(令和4)年度ケーブルテレビ栃木 放送番組審議会

議事録

1. 開催日時 2023年1月25日(水) 10:00～11:05
2. 開催場所 ケーブルテレビ株式会社 栃木センター大会議室
3. 出席委員 審議委員総数 10名 出席委員数 10名

■出席者(敬称略)

大 川 秀 子 会 長(栃木市長)
膝 附 武 男 委 員(栃木商工会議所 副会頭)
阿 部 勝 彦 委 員(大平町商工会 会長)
伊 藤 邦 夫 委 員(藤岡町商工会 会長)
安 藤 芳 雄 委 員(岩舟町商工会 会長)
三 室 一 男 委 員(都賀町商工会 会長)
山 岸 弘 幸 委 員(西方商工会 会長)
平 野 洋 行 委 員(栃木警察署 署長)
上 岡 健 司 委 員(栃木市消防本部 消防長)
柳 田 和 子 委 員(栃木市女性団体連絡協議会 会長)

■ケーブルテレビ株式会社 出席5名

高 田 光 浩 (代表取締役社長)
清 水 研 児 (コンテンツ部地域プロモーション課課長)
田部井 肇 子 (コンテンツ部地域プロモーション課係長)
安 生 恵 子 (コンテンツ部地域プロモーション課係長)
小 林 満那子 (コンテンツ部地域プロモーション課主任)

4. 報告事項

【全体】

- (1) 新委員の委嘱に関する報告
- (2) 放送エリア及び加入状況に関する報告
- (3) ケーブルテレビ(株)の取り組みに関する報告

質問・回答 特になし

【コミュニティチャンネル関連】

- (1) 2022年度の取り組み
- (2) チャンネル構成
- (3) 主なレギュラー番組
- (4) 主な特別番組

質問・回答 特になし

5. 議事

- (1) ご視聴番組に対してのご意見・ご質問
- (2) コミュニティチャンネルに関してのご意見・ご質問

① 【全国向け番組】 けーぶるにつぼん 彩・JAPAN 渡良瀬遊水地 ヨシ原とともに

- 【委員】 見どころがあり、リアルでよかった。中国産ヨシとの違いや、新たにシイタケ栽培に生かしているところなどきちんと説明されていた。60年のキャリアがここで絶たれてしまうのではないかと心配になった。
- 【委員】 美しい映像と、職人としての朴訥(ぼくとつ)とした感じがよかった。イタチなのかハクビシンなのか、小動物も映って魅力を感じた。いい映像、地域の素晴らしいところを撮ってもらえてよかった。
- 【委員】 個人的に藤岡出身なので、古い歴史の紹介が触れられていてよかった。よしずを作り続けてきた松本さんの飾らない口調がよい。あと何年かすると途絶えてしまうと思うと寂しいというか残念。小学生のとき、谷中湖の歴史を学び、見学したことを思い出した。番組全体として大変感慨深かった。
- 【委員】 シュロの縄で編む様子がじっくり見られて、なるほどなと思った。
- 【委員】 ヨシ焼きの雄大さが非常によかった。藤岡に住んでいた子どものころ、ヨシの皮むきをやった記憶がよみがえった。非常に懐かしく見た。できれば毎年やるヨシ焼きを、続けてほしいと思う。
- 【委員】 松本さんは地元ではかなりの有名人。壮大なヨシ焼き、毎年全国からカメラマンが何百人と訪れ期待される催し。ぜひ現場で見たい。
- 【委員】 大平でもかつてヨシ原があった(土与から東小学校あたり)。土与川連にはヨシや、ヨシを編む人が何人もいたことを思い出した。映像が鮮明に撮れていて視聴者に伝わったのではないかな。これからも大変だと思うが、各地の催しを撮ってほしい。
- 【CATV】 地域の課題を「自分事」として受け止めていただけるような問題提起を、番組を通してお伝えできればと思います。地域に育まれた彩の美しさ、それを生み出す人々の営みを紹介するシリーズ、日本ケーブルテレビ連盟経由で全国発信するほか、海外販売等も検討しています。今後も地元の魅力の全国発信に積極的に取り組んでまいります。

② 自治体広報番組 Report Tochigi 10月号

- 【委員】 とても参考になる番組だった。
- 【委員】 新たに開館した美術館、展示品が少しでも紹介されると尚よかった。
- 【CATV】 美術館の展示品について、開館前取材のため紹介できませんでしたが、今後、ニュース番組などを通じて収蔵品・展示品を取り上げてまいります。今後も栃木市の広報ご担当者様と相談をしながら、市政を身近に感じていただける番組にしていきたいと思います。

③ 安全安心だより「特殊詐欺防止」7月号

- 【委員】 身近な話題として寸劇を取り入れて「伝える工夫」が感じられた。特殊詐欺被害にあわないよう、高齢者に見てもらえれば役に立つのではないかな。
- 【委員】 火災予防に関しても、新手の特殊詐欺が横行している。繰り返し PR していくしかない。
- 【委員】 詐欺の手口を、人から話を聞くだけでなく、「自分事」に置き換えられるよう、安全安心の番組を通じて色々見られればと思う。
- 【委員】 他の手口も含め、間隔をあけず、いつでも見られる方法をとってほしい。
- 【委員】 警察官が実際に演じていて、一生懸命さに訴えるものがあつた。
- 【委員】 詐欺の注意喚起がわかりやすく、ありがたかつた。
- 【CATV】 より多くの方に見ていただくため、番組の宣伝に取り組むとともに、お客様が見たいタイミングで見られる媒体での掲載など、多くの手段での発信に努めてまいります。今後も、交通安全や特殊詐欺被害防止など、安全安心の街づくりに向けて地域の皆様へ啓発番組を制作してまいります。

④ とちぎ HOT ステーション 国体特別号

- 【委員】 真剣な選手の姿に感動した。このあとの番組を考えてほしい。
- 【委員】 スポーツで栃木県がひとつになったイベント。地元の選手を市民が応援する姿は、スポーツの力を感じた。谷中湖の競技会場に足を運んだが、現地では選手がよく見えなかつた。カメラ映像はアップに出来るので、よく見えた。テレビ取材の出番だと思った。
- 【委員】 コロナ禍での国体。地元 CATV として市内すべての競技が放映されてありがたかつた。
- 【委員】 コロナで観戦できない中、各競技がきれいに撮影されていて、がんばっている様子が伝わった。
- 【CATV】 社会人、子ども、たくさんの方の活躍の舞台を取材させていただきました。今後も将来の選手となる子どもたちの取材に力を入れてまいります。

⑤ とちぎ秋まつり 生中継

- 【委員】 すごく臨場感のある画面で見入ってしまった。マイクを向けられると誰でも身構えると思うが、路上インタビューが断られるシーンは、視聴者として水を差される印象。生放送であっても段取りしたほうが良いと感じた。
- 【委員】 臨場感があり、行ってみたいと思う内容だった。来場者も多く、テレビの影響が大きかつたと思う。
- 【委員】 最終日は雨で残念だったが、インタビューを通じて、現場にいる人を身近に感じられた。
- 【委員】 子どもたちが山車をひっぱる様子を見ることができ、今まで以上によかつた。今回出来たなら再来年もできると思える内容だった。

【CATV】 インタビューについては、答えていただける方の意向をふまえるなど、工夫してまいります。

⑥ NHK WORLD-JAPAN Treasure Box Japan: Tochigi

～Lotuses in Rainy Tsuganosato Park～

【委員】 水滴を例えた感性のすばらしさに感心しました。

【委員】 栃木市は非常に自然豊かなところがあるので、大いにPRしてほしい。

【CATV】 海外への発信含め、今後もNHK等他の媒体と連携しながら、地元の魅力を多く伝えていけるよう努めてまいります。

(2) コミュニティチャンネルに関する意見・感想

【委員】 日頃、自分自身も出演する機会がありありがたい。「おおきくなったら」は身近な番組で、子どもたちががんばっている様子が伝わっている。

【委員】 いま一番問題なのは少子高齢化。市の人口をいかに増やしていくかが課題。自治体、商工会、CATVがタイアップして、空き家の利活用や、住みよい特色(交通の便がいい・学校が多い・駅が複数ある)をPRし、県外から若い人を呼びたい。栃木市の財産をうまく活用し、情報を共有して、住みよい明るい街づくりができれば本当に素晴らしいと思う。

【委員】 栃木市の空き家バンク登録数は毎年100件位あり、うち利用は70件程度。その取り組みは全国でも注目を集めている。田舎暮らしを求めている人に需要があり、農業委員会を通じて農地付き空き家登録を依頼している。空き家バンク登録数を伸ばせるよう協力をお願いしたい。

【委員】 北海道はPRして海外から人が訪れている。栃木市は合併後16万都市になった。西方は30%人口減なので、活性化のためCATVでも地域PRをして地域の活性化につなげてほしい。

【委員】 初めて番組審議会に参加した。仕事でのやりがいを何で共有していくのか、というところで広報活動を始めた。空き家の話のように、相手が欲しい情報を伝えていく部分を、行政とリンクして、人々がつながっていくような媒体になるとありがたい。

【CATV】 地域の方と共に「みなさんで、何か一緒にやってみましょうよ」と呼びかけることが、番組を通してできると考えています。地域への貢献、協力をコミュニティチャンネルを通じてしていきたいと思います。地域課題の解決は全国のCATV事業者の成功事例もありますので情報交換しながら、栃木市様、それぞれの団体様へご提案してまいります。

以上